

確かな下仕事があつて、美しい紙が生まれる。

紙への道



黒皮
乾燥

原木からはぎ取られた黒褐色の表皮を黒楮という。剥いた黒皮は自然乾燥させて貯蔵しておく。



かざ
ひき

(黒皮そぞり)

楮皮の外皮を取り除く作業をカズヒキと呼ぶ。黒皮を半日ほど水に浸け柔らかくしてからアデというそぞり臼の上のせて、カズヒキ鉋丁で二本一本丁寧に削っていく。川や井戸水から上げた氷のついた楮皮である。



楮
ゆすぎ

(水洗い)

粗皮を取った楮皮は白皮となる。この白楮を寒い夜に外に出して凍らせて再び乾燥させる。そしてまた一晩ほど水に浸す。これをカズヒタシという。さらに静水の中で、把すつ丁寧にふるい、白皮にねぼりついた不純物を洗い流す。冬の最も寒い時期におこなわれる。